

# 鹿皮ドラムで伝えるシカの現状

森と木のエンジニア科2年 林産業コース 萩野真玄

## 鹿の現状

### 鹿は増えている

オオカミの絶滅 拡大造林  
地球温暖化 鹿の対策の問題

### 増えすぎると困ること

#### 人里への影響

農作物を食べる  
交通事故

#### 森林への影響

植樹した苗を食べる  
剥皮 生態系破壊

### 森の恵みを有効に活用

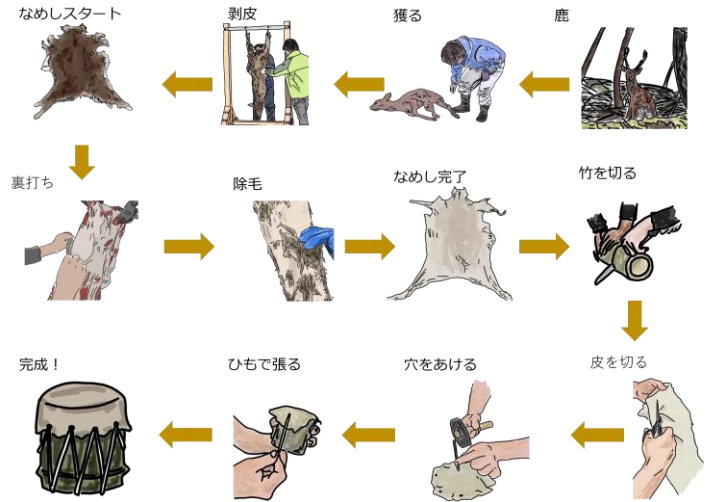
#### 肉の利用

ドッグフード、食肉

#### 角、皮の利用

角ナイフ、手袋

## 鹿からドラムになるまで



## ワークショップの様子



## 企画立案の流れ

主に人為的原因で増えてしまった鹿



狩猟するも、上手く利活用できていない



廃棄されることが多い皮を使って  
何かできないか



鹿の現状を多くの人に知ってもらいたい



翔楓祭でワークショップを実施



鹿皮ドラム

## まとめ

廃棄される鹿皮も十分に活用する方法があり、  
ワークショップでは鹿皮に魅力を感じる方が  
多いことが分かった。

アンケート調査から、鹿に関心興味がなかったが  
体験を通して鹿皮に興味を持って、  
今後鹿の製品を買ってみたいという方がいた。

## 今後

鹿の利活用は手間がかかるなどまだまだ課題が多いが、  
こういったワークショップにより、  
多くの人にシカのことを知ってもらえば、  
資源の活用不足の改善に少しでもつながると考える。  
鹿問題への猟師さんの意識の変化を促し、  
より自然のため、人のための  
森の管理が進んでいくことを願っている。